事業所名　児童デイサービス らいおん

支援プログラム

作成日　2025 年　3 月　15 日

法人（事業所）理念		人間尊重を基本として純真（ピュア）・誠実・信頼を築き、社会に貢献していく		
支援方針		児童様が日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応することが出来るよう、当該児童様の心身及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、指導及び訓練等を適切に行っていきます。サービスの実施にあたっては、利用者の必要なときに必要なサービスの提供が出来るよう努めていきます。そして、関係市町村及び地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めていきます。		
営業時間		9 時　0 分から　18 時　0 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容		
本人支援（5領域）	健康・生活	○健康状態をチェックすることで健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援していきます（来所時に検温及び健康観察を行います。） ○医療的ケアが必要な児童様は保護者及び主治医と連携し、デイ内にて医療ケア以外で注意することや行う事等対応行います。（看護師が必要な対応を行います。） ○基本的な身辺自立及び個々に応じた支援等、個々の児童様に合わせて課題に取り組み、習慣化できるように支援し健全な発達と日常生活における自立を促進していきます。 ○個々の児童様に適した、身体的・精神的・社会適応できるスキルを向上させることで、社会での自立、健全かつ自発的な生活を営む能力を習得出来る様支援していきます。 ○ご自分の荷物の管理（整理整頓等）や生活環境の維持（掃除等による清潔保持など）、社会的規範などを理解し実践できる力を習得出来る様支援していきます。 ○買い物練習を通しお金の価値や選択・購入方法を実際に学び経験を積んで頂き、将来自立した意志決定ができる能力を育成支援します。 ○小さなサインを読み取り筋緊張を緩和する環境づくりと、遊び、姿勢管理により、健康状態の維持や改善に繋げる支援をしていきます。		
	運動・感覚	○日常生活に必要な、動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図っていきます。 ○音楽的な感受性を高め、社会的協調性や自己表現を向上させることとする。遊びや運動を通して音を聞くことによるリズム感や表現力・協調性を育む支援をしていきます。 ○音や温度・室内環境に配慮することで緊張状態を緩め感情コントロールや集中力を高め心身のバランスを整える支援をしていきます。 ○発達・認知の特性や感覚等を考慮し、環境調整等の提案及び支援を行っていきます。 ○感覚統合を遊びなどから通し、楽しみながら身体の発達を促し・支援していきます。		
	認知・行動	○日々の変化を確認する環境提供をして情報の取得、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援していきます。 ○認識したものの特性を精緻に識別し、概念的理解を深めるとともに、認知的処理能力の向上・複雑な知覚的課題への適応力を強化支援していきます。 ○認知の偏り等の個々の特性に配慮しながら感覚形成ができ自身の認知的特徴を理解し、様々な事象への認知・行動の適応力を促進できるよう支援していきます。 ○感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、適切な行動への対応を支援していきます。		
	言語 コミュニケーション	○具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付ける等により、体系的な言語の習得や自発的な発声を促す支援を行います。 ○うまく伝えられない児童様に対し身振りや表情等から気持ちを職員が汲み取り、言葉にして他の人に一緒に伝える等して人と関わる機会を得ながら自分の気持ちを伝えられる経験を増やします。 ○一人一人の発達段階に対応するコミュニケーション手段（指差し・身振り手振り・サイン等）を選定し、安心して意思の伝達ができるよう支援します。 ○児童様同士で関わる機会が増えるように職員が橋渡しします。 ○様々な人との関わりを通じて、いろいろな言葉に触れる機会を増やします。		
	人間関係 社会性	○周囲の人と安定した関係を形成するための支援や無関心である一人遊びの状態から並行遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます。社会的相互作用の向上・協力や役割分担・規範などの社会的スキルの体系的育成を目指していきます。 ○学習や遊びを通して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援していきます児童の自己認識を深め、情動調整力を強化し、心理的な適応力を向上行えるよう支援します。 ○集団活動の中で、役割分担をしたり、ルールを守ることの大切さを知らせ、社会性や安定した人間関係の形成を支援します。 ○製作活動や集団活動際などの活動を通じて、様々な人と関わる機会を増やしたり、児童様同士で手伝ったり助け合う雰囲気作りを支援します。		
家族支援		○連絡帳を活用し、御本人様の活動風景等を保護者と共有します。 ○年に2回個人面談を実施し、保護者との情報共有・相談等行います。 ○悩み事・困り事等の相談時は対面もしくはお電話等にて助言等行います。	移行支援	○学校や担当相談支援員、各関係機関と連携し、サービス担当者会議に出席します。 ○必要に応じて学校を訪問し、情報の共有や具体的な関わり方のモデルを示します。 ○学校での引き渡し時では当日の学校での様子などを聞き、支援に生かしていきます。
地域支援・地域連携		○毎年開催されるグリーンフェスティバル等の地域イベントへの参加等を通じて地域との交流の機会を提供します。 ○老人施設への訪問、ハロウィンで地域の方々の協力で交流を行っております。	職員の質の向上	○職員担当者及びケース検討会を毎月実施します。 ○強度行動障害の研修へ順番に参加行っていきます。 ○外部で開催される研修会に参加します。
主な行事等		○毎月毎週土曜日にテーマに応じた企画（制作等）　○長期休暇中の活動（おやつ作り等）　○避難訓練（月1回）　○社会体験（お買い物練習等） ○・水遊び（ビニールプール使用）・夏祭・ハロウィンパーティー・クリスマス会・節分豆まき　等季節ごとのイベント ○毎年開催されるグリーンフェスティバルへ参加　○地域の老人施設（デイサービス・特別養護老人ホーム）に慰安訪問（手話・ダンス等披露） ○遠足やミニ遠足（不定期開催）		